

広報と



河野兵市さんと川之浜小学校児童のみなさん

今月の主な内容

- 河野さん帰町報告……………2～3
- 地区懇談会……………4～5
- 「結婚宣言」エッセイコンテスト……………8
- お知らせ……………10～11

'97
6月号 No.290

河野兵市帰町報告会

開催

日本人で初めて、北極点単独徒歩到達に成功した河野兵市さん（川之浜）の帰町報告会が5月25日、総合体育館で開催され、地元英雄を一目見ようと町内外から約600人もの人々が出席しました。

詰掛けた支援者の盛大な拍手につつまれ入場した河野さん。少々緊張ぎみの表情をしていましたが、母校川之浜小学校の児童から花束を贈呈されると表情も緩み、笑顔を浮かべていました。

井上町長から偉業を称え町民栄誉賞を授与され、支援者の方々に深々とお礼をした後、スライドを使いながら今回の冒険について興味深いエピソードや北極点に対する熱き思いを語りました。

また、報告会に先立って行われたサイン会やグッズ販売のコーナーにも長蛇の

列が出来ていました。報告会終了後、約100人の支援者が参加し、祝賀会が行われました。祝賀会はなごやかなムードの中で進められ、河野さんと記念撮影をする光景があちこちで見られました。



(2)



河野兵市パネル展

5月28日から6月2日までの6日間、河野さんの偉業を振り返る河野兵市パネル展「極点への軌跡」が町民センターで開催され、700人が訪れました。このパネル展には写真50点をはじめ、遠征の行程を記録した地図、新聞記事さらに実際に使用したソリなども展示され、極地の自然の厳しさや遠征中の生活ぶりがうかがえ、展示品に興味深く見入っていました。



日本人初の快挙を記念し大型写真グラフ・単行本が刊行されました。

・北極点はブルースカイ人間の限界に挑んだ波乱の冒険手記

・特別速報グラフ

アドベンチャーワールド オールカラーで勇姿を再現したもの

▼お問い合わせ・お申込先 河野兵市・北極点遠征隊事務局

TEL 089-190511121
FAX 089-1960105591

(3)

5月16日、母校川之浜小学校を訪れた河野さんは、児童らからお祝いのメッセーじや賞状、色紙で作った首飾りをプレゼントされました。

行政地区懇談会を開催

「皆さんの声を町政に!!」をスローガンに、5月26日の神崎地区を皮切りに各地区で懇談会を開催しました。膝を交えての和やかな懇談で、日常生活に密着した身近な問題をはじめ、様々な意見が出されました。

町長をはじめ、各担当課長も熱心に協議し、実施可能な事項には即決回答するなど、有意義な懇談会となりました。

紙面の都合上すべては掲載できませんが、一部を報告します。

町に老人ホームの設置を

Q 高齢化が進み、要介護者が増えてくる。生まれ育った町で生涯を全うしたいと願うのが人情であるため、町に老人ホームを設置してほしい。

A 当面は、少人数が共同生活でき、医療対応もできる施設の点在配置を検討し、町総合振興計画に盛り込みたい。



▲懇談会の様子

ふるさと創生交付金について

Q 使途と残額は？

A ふるさと創生基金を設け

①奨学金の貸与
②海外研修費の一部助成に当てており、現在の残額は7千円余りです。

ゴミ処理について

Q ①大きなゴミ袋を作成願いたい。

②最終処分場の設置を

A ①早急に大きなゴミ袋を作成いたします。

②用地選定を含め、準備作業を進めています。

地区内道路の整備について

Q 緊急自動車が行来できないよう地区内道路を整備して欲しい。

A 用地提供承諾状況等を踏まえ、全町的に調整し、順次整備したい。

道路の排水等対策について

Q 大雨時に、道路排水や土砂流出で被害を受ける防止対策を。

A 現地調査し、国・県道については、土木事務所とも協議のうえ、対応可能な場所から順次整備したい。

三机地区内13号線



インシシの被害対策について

Q 農産物の被害が甚大である。対策を。

A 県および猟友会と協議し、善後策を講じる。



(4)

明日の瀬戸町農業をみつめ

集落座談会開催

町の基幹産業として農家経済を支える柑橘農業も、



従事者の高齢化が進むにつれて、生産力の維持という根幹的な部分に様々な課題が生じています。

町では、中核農家や農業諸団体に呼びかけ「明日の瀬戸町農業」について語り合う、農業振興集落座談会を開催しました。

出席者から、担い手対策や農家の意識改革など、貴重な意見が数多く出され、将来に向かって取り組むべき課題が明確になり、実りの多い座談会になりました。主な意見や提案は、次のとおりです。これを瀬戸町農家全体の課題とし、解決に向けての取り組みを進めて行きます。

▲農地流動化の推進

農業の省力化や効率的な設備投資に欠かれないのが農地集約の問題です。

また、従事者の高齢化により、ここ数年で放任園が増える心配もあります。この対策として、農地流動化の推進が図られています。また、個々の利害もからみ思うにまかせないのが現状です。長年の課題となっていたこの問題について、次の意見が出されました。

○農地集約の意義を理解することが大切。「先祖から引き継いだ土地だから植林しても守りたい」という意識を改革しなければ農地集約は進まない。

○園地を貸そうにも、借り手を見つけれない事例も多い。貸与を希望する農地の受け皿組織（農業公社）が必要。

当面は、集落単位で放任園（見込み園）を隣接園主等に斡旋するルールづくりを。

○農地流動化奨励金の復活も効果があるのでは。

▼担い手対策をどうするか

高齢農家の方から「農業は自分二代で成り行きにまかせ」という声が聞かれます。後継者がほとんど残らない現在、担い手不足は非常に深刻な問題です。

農地を守り、生産力を維持していくための担い手対策について、次の意見が出されました。

○防風垣の手入れや剪定、また農薬散布などの農作業受託組織をつくり、高齢農家のニーズに応じてゆけば地域農業の維持につながっていく。

集落単位での組織化は難しいので、町全体の組織として農業公社の設立が必要と思う。農家の理解や意見の集約を図り、早急に設立手法の研究を。

▼省力化対策が必要
柑橘農業を支える従事者の大半は高齢者の方々です。後継者がいないと嘆きながらも、必死に農地を守ってきています。

将来を見据えた担い手対策に併せ、省力化対策も重



(5)

痔のおはなし

痔は、直立歩行を始めた人類の宿命ともいえる病気です。ヒトのおしりは、4つ足の動物と違って、心臓よりも低い位置にあるので、うっ血（静脈の中の血が流れなくなつて充血すること）しやすくなっています。

おしりのうっ血が原因でおこる痔核（イボ痔のこと）は、大きく3つに分けられます。

①直腸・肛門部の血行が悪くなり、血管の一部がふくれあがる痔核（イボ痔）

②硬い便によつて肛門上皮がさける裂肛（キレ痔のこと）

③細菌感染が原因で、うみが出る肛門周囲膿瘍・痔瘻

痔核は、肛門の外にできる内痔核と肛門の外の皮膚の部分にできる外痔核があります。「痔は痛い」とよく言われますが、内痔核は痛覚のない粘膜にできるの

一方、外痔核は痛覚のある皮膚の部分にできるので痛みをとめます。ところが、痛くないはずの内痔核も程度が進んでくると、肛門外に脱出するようになり、外痔核をともなつて痛みが出てくるという訳です。

裂肛（キレ痔）になると排便時に痛むため、トイレをがまんするようになり、ますます便が硬くなり、悪化することがあります。

こうなると、傷が慢性化して、肛門潰瘍となり肛門が狭くなってしまいます。そして、ますます便が通りにくくなり、傷がさらにひどくなるといった悪循環をくり返します。

肛門周囲膿瘍は、直腸と肛門のさかめの小きなくぼみ（肛門小窩と言います）から、大腸菌が入り込み、直腸や肛門周囲が化膿した

もので、この化膿が皮下まで進行し、皮膚が破れるとうみがでて、直腸や肛門とつながったうみの管ができます。これが痔瘻です。これら痔疾患のうちの半



数が痔核です。裂肛や痔瘻は、それぞれ15%程度です。痔核は特に男女差はありませんが、裂肛は女性に多く、痔瘻は男性に多くみられます。

痔を予防するコツは

- ①毎日お風呂に入る
- ②おしりをきれいに
- ③便秘、下痢に注意
- ④トイレで強くいきまない
- ⑤腰を冷やさない
- ⑥座りっぱなしはよくない
- ⑦酒、コショウ、からしなど、刺激物は控えめに

以上7項目が忠実に実行できれば、痔はかかなり予防できるものと思われず、痔でお悩みの方は、気軽にご相談下さいませ。

大久診療所

所長 瀬戸 晋吾

食中毒から家族を守る また動き出したO157

食中毒の予防には、「きれい」であることよりも、「清潔」で「衛生的」であることが大切です。毎日の買い物からあと片づけまで、食事の過程の衛生について、きちんとした知識を身につけて、チェックしていきましょう。

◆食中毒6つのポイント◆

①食品の購入

- ・肉、魚、野菜などの生鮮食品は新鮮なものを。
- ・冷凍や冷蔵などの温度管理の必要な食品の持ち帰りには注意。

②家庭での保存

- ・冷蔵、冷凍の必要な食品は持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に。

④調理

- ・加熱して調理する食品は十分に加熱を。
- ⑤食事
 - ・清潔な手、清潔な食器に。
 - ・室温に長く放置しない。
 - ⑥残った食品
 - ・小分けして浅い容器に保存
 - ・時間がたちすぎたり、ちよつとでもあやしいと思ったら捨てる。



・包丁やまな板の使い分け、使った器具やふきんなどの消毒を。

・冷蔵庫、冷凍庫の詰めすぎに注意。（7割程度）
・冷蔵、冷凍していても細菌が死ぬわけではないので早めに使いきるように。

③下準備

・台所の点検（タオルや石けん、料理台の上、ごみ箱など清潔に）
・手洗いを十分に（肉、魚を扱った後やトイレの後など）

わが家のアイドル

(大久) 徳永正樹さんの子

(塩成) 岩村寿彦さんの子



徳永裕紀くん
(平成7年12月23日生れ)

「ぶーぶー」が大好きな裕紀。車の鍵を持つだけでご機嫌です。最近、高い所に登るなどやんちゃぶりを発揮しています。お父さんは一緒にテニスができる日を今か今かと待っている今日この頃です。

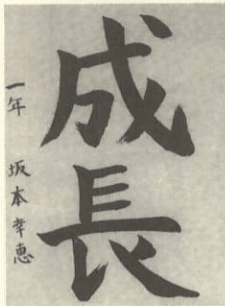


岩村恵里那ちゃん
(平成7年11月30日生れ)

気に入らないと、誰にでも手をあげる気の強さは「天下一品」。でも、音楽が聞こえると腰を振って踊るようになり、みんなを笑わせます。気の強さもいいですが、やさしい女の子になってくれればと願っています。



瀬戸中学校1年
坂本幸恵さん



(9)



塩成小学校6年
井上秀樹くん



みんなの
作品

「記」という字がうまく書けました。「念」は、はらうところが少し難しかったです。

保健



**社協だより
赤い羽根共同募金の特別配分**

平成9年度配分として、在宅介護サービス特別事業に、ヘルパー使用の訪問車、児童の健全育成特別事業に瀬戸町スポーツ少年団へミニバスケットボールのユニホームが贈られました。皆さんの善意による共同募金からです。有効に使わせていただきます。



**ふれあい通じて
ゲートボール大会**

5月22日(休)、瀬戸野球場において、町老人クラブ連合会が主催されました。午前9時からの開会式に引き続き、参加12チームが試合を開始。ボールに向かう表情は真剣で、日頃の練習の成果がうかがえました。結果は次のとおりです。

1位 田部Aチーム
2位 大久Aチーム
3位 大江オレンジチーム



**瀬戸町赤十字奉仕団
創立20周年記念式典開催**

6月7日(出)、町民センターにおいて、瀬戸町赤十字奉仕団の創立20周年記念行事が開催されました。式典では、多年にわたるボランティア活動に寄与された方々に感謝状が授与されました。引き続き、首相夫人である橋本久美子先生により、「総理と歩む」と題して記念講演が行われました。



講演では選挙の苦勞話などが披露され、「選挙で主人と会うたびに子供が増えた」と笑わせる場面もありました。会場には立見客も出るほどの大勢の人々が詰めかけ、橋本先生のユーモアを交えた話に耳を傾けていました。主催者からのお礼

今回の創立20周年事業を4年前から計画し、多数の皆様にご協力をいただき、盛會裡に開催できましたことを紙上より厚くお礼申し上げます。



(7)

新たな栽培漁業を目指し

「力キ養殖」

冬の漁業生産及び、漁家の所得向上を目指して、町青年漁業者協議会（会員13名）のメンバーが「マガキ」の試験養殖に取り組みんでいます。

5月中旬に広島から種カキ、5000枚を購入し、6月5日、三机沖に施設を設置しました。

通常の筏施設と異なり、風浪に対する耐久性を増すために、日本海などで実績のある「延縄方式」で実施します。

現在、約1cmのカキが無数に付着しており、年末から2月の収穫時期まで調査研究をしていきます。



した青年協の皆さんの熱意により、今後の漁業振興の起爆剤となるよう期待しています。

なお、船舶の航行には充分気をつけて下さい。

「鯉・味・あじ祭り」開催

3回目を迎えた「鯉・味・あじ祭り」が5月25日(即足成漁港にて盛大に開催されました。

今年は例年になく、大アジの水揚げが少なく、開催が危ぶまれましたが、20日過ぎから大アジが釣れはじめ、港もにわかには活気を取り戻し関係者一同ホッと胸をなでおろしました。

当日は天候も良く、前年と比べて1割増の370人が訪れ、県内では東予方面、また、県外は京都や広島など遠方からの参加もあり、年々瀬戸アジのPR効果が広がっているようです。

関係者一同、今後も引き続き「瀬戸アジ」の名を広め、瀬戸町の目玉となるよう頑張りたいとのことです。

瀬戸の海浜を未来の子供達へ

瀬戸町漁業協同組合では昨年、7月20日に国民の祝日「海の日」に制定された事に伴い、海岸清掃を実施しています。本年の漁協総会においても、漁場一帯の賛成を得て、引き続き実施する運びとなりました。

今一度、海からの恩恵を忘れていた現在を見詰め直すいい時期ではないでしょうか。私達が何気なく捨てた現代社会の不用品（ナイロン・プラスチック・空き缶等）が今、海中の動植物の生態に悪影響を与えている事は言うまでもありません。

今一度、昔のマリンブルを取り戻そうではありませんか。

瀬戸の海浜を未来の子供達へ引継ぐ為に、漁協組合員は元より、一般市民の皆さんにも参加をいただき、7月20日の海浜清掃に共に汗を流しましょう。母なる海へ感謝して。

人々のうごき

(5月末現在)

世帯数	1,171戸
人口	2,915人
男	1,347人
女	1,568人
本籍数	4,153戸
本籍人口	13,250人

広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

平成9年5月分



末長く
お幸せに



お誕生
おめでとう



おくやみ

年金コーナー

40歳以上の方の年金権確保のために

皆さんが加入する国民年金は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付することにより満額の年金が保障されます。また、その間に25年以上公的年金制度に加入した場合にも、加入期間に応じた老齢基礎年金を受け入れることができます。

しかし、制度に加入していても、保険料を納めていない場合には、年金額が少なくなったり、25年の資格期間を満たさず、無年金になる場合があります。

そこで、次のような救済制度がつけられています。

60歳から65歳になるまでの任意加入制度

加入期間の不足により、老齢基礎年金が受給できない方や、年金額を増額しようとする方が任意加入できます。

詳しくは役場年金係までお問い合わせ下さい。

「宝くじ福祉号」を町在宅介護支援センターへ

この程、財自治総合センターの助成により巡回車両を購入し、在宅介護支援センターに配備しました。



お礼

次の方から指定預託の申し出がありました。

- 川之浜、河野恵美子様から亡夫、武蔵さんが生前お世話になったお礼として、
- 社会福祉協議会へ、
- 金 100,000円
- 瀬戸町歌謡同好会様からチャリティ歌謡ショーの募金を社会福祉に役立ててほしいと

お礼

広報発送費用にと、ご寄付をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

- 広島市 古高 富雄様
- 京都市 山本 忠男様
- 別府市 大野 毅様
- 大蔵市 是沢 長利様

宝くじの収益金は、私たちの身の公共事業に役立てられています。

サマージャンボ宝くじ
1億5,000万円

発売期間 7月22日(火)～8月8日(金)

1等賞	1名	1億5,000万円
2等賞	2名	1,000万円
3等賞	5名	500万円
4等賞	10名	200万円
5等賞	20名	100万円
6等賞	50名	50万円
7等賞	100名	20万円
8等賞	200名	10万円
9等賞	500名	5万円
10等賞	1,000名	2万円
11等賞	2,000名	1万円
12等賞	5,000名	5,000円
13等賞	10,000名	2,000円
14等賞	20,000名	1,000円
15等賞	50,000名	500円
16等賞	100,000名	200円
17等賞	200,000名	100円
18等賞	500,000名	50円
19等賞	1,000,000名	20円
20等賞	2,000,000名	10円

※この応募券は財団法人全国福利彩票協会の管理下にあります。